

【問い合わせ先】

館林市観光協会（市つつじのまち観光課内）

報道機関各位

電話 0276-74-5233

担当 中村 鯨井

TVアニメ「宇宙（そら）よりも遠い場所」
新規描き下ろしイラスト・等身大パネルの完成について

本市も舞台の一つであるTVアニメとして平成30年に放映された「宇宙（そら）よりも遠い場所」。本年1月から3月には、Eテレにて全国放送もあり、放映から6年経った現在でも多くのファンが舞台探訪に訪れています。今回、主要スポットの一つである茂林寺を背景に、新たな描き下ろしイラストが完成しました。引き続き、作品とコラボレーションした企画を順次展開し、市民の皆さんのシビックプライド向上と地域活性化に活かしていきます。

1. 館林版描き下ろしイラスト第二弾

作品の前半部分を中心に、主要キャラクターのたまり場として登場する茂林寺の境内を背景に、4人が狸のパーカーを着用してポーズをとる様子や、その光景を見つめるサブキャラクター2人も登場しています。

今後、本イラストを活用した企画やグッズ制作なども展開してまいります。



(最前列左から ※狸パーカー着用)

- ①白石結月 (しらいしゆづき)・・・白鳥のブローチ、狸のポーズ
- ②三宅日向 (みやけひなた)・・・狐のブローチ、プリン風ドリンク
- ③玉木マリ (たまきまり)・・・つつじのブローチ、茂林寺の御朱印
- ④小淵沢報瀬 (こぶちざわしらせ)・・・花ハスのブローチ、ぽんちゃんのポーズ
(後列左から)
- ⑤高橋めぐみ・・・玉木マリの親友 ⑥玉木リン・・・玉木マリの妹

2. 等身大パネル

描き下ろしイラストのキャラクターを等身大サイズで表現したスタンディパネルを制作しました。



- 設置日 令和6年6月1日(土)より常設予定
- 設置 つつじが岡ふれあいセンター内
- 規格 縦 140 cm～160 cm×横 100 cm (紙製) ※概ねの寸法
- 活用 つつじが岡ふれあいセンター内の展示のほか、市内公共施設、関連スポット、市や観光協会が主催する行事等に設置し広くPRを図ります。

【作品内容】

本市の女子高に通う主人公が、行方不明となった母親を見つけようと南極を目指す同じ高校の同級生らと知り合い、南極に行く「女子高生南極青春グラフィティ」。平成30年1月～3月にAT-X、TOKYO MXほかにて放送。監督はいしづかあつこさん、制作をマッドハウスが担当。人物描写やストーリーの質の高さが評価され、平成30年12月には米紙ニューヨークタイムズの「2018ベストテレビ番組」の海外部門10作品の一つに選ばれた。館林市内においては、令和3年1月に、主要キャラクター4人を「館林アニメアンバサダー」に委嘱し、広告塔としてPRに活用。本市は、(一社)アニメツーリズム協会が主催する「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」に群馬県内で唯一2019～2024年版に連続認定されている。